

第2学年 道徳学習指導案

指導者 教諭 和賀 あい理

- 1 日時 平成28年7月1日(金)公開授業② 第2校時
- 2 学級 盛岡市立上田中学校2年3組 男子17名 女子15名 計32名 南校舎3階2年3組教室
- 3 主題 自分を探そう「個性の伸長」【1-(5)】
- 資料名 「私は十四歳」(出典 『中学道徳2 明日をひらく』東京書籍)

4 主題について

内容項目1-(5)は「自己を見つめ、自己の適性や能力の発見に努め、個性を伸ばして充実した生き方を追求する」ことを目標としている。自己理解を深めるために、これまでや現在の自分、そして将来こう在りたいという自分を静かに見つめ直すことは、自己の向上を願って生きていく上で重要なことである。また、人それぞれには必ずその人固有の良さがあり、その個性を伸ばしていくことは、人間の生涯をかけての課題でもある。他者とのかかわりの中で自分らしさを発揮し、自分自身が納得のいく意味のある充実した生き方を目指すことで、体得されるものである。

本学級は、各行事や日々の様々な活動において、与えられた事柄は責任をもって行うことができるが、自ら判断して行動することに対して、他人と異なることへの不安から躊躇してしまう生徒が多い。また、さわやかなあいさつや仲間への思いやりのある声掛け、各活動への取り組む姿勢など、優れていることがあっても、自分の良さや自己の適性に気付けていない生徒もいる。

本資料は、小学校から続けてきたバスケットで自信をなくし、自分を取り戻すために部活動をやめ、新たな自分を求めて葛藤する主人公の話である。小学生の頃はバスケットをしている時間が充実感を与えてくれる最も自分らしい時間と感じていた主人公だったが、中学生になり、予想以上につらい練習から自信を失い、何のためにバスケットをやっているのかわからなくなってしまった。しかし、自分探しの旅を続ける中で、初めは、自分のやりたいことが見つからず苦しむが、自分の無力さを反省しながらも、ジャズダンスとの出会いを通して、徐々に自分らしい生き方を見つけ、希望を抱いていく。この話を通して、主人公の考えに共感したり反発したりしながら、それぞれがじっくり個と向き合い、自分を見つめさせたい。自己との対話を深めつつ、自信をもって自分の良さを出せるようにさせると共に、充実した人間としての生き方について追及しようとする実践意欲を持たせたい。

5 本時の評価

道徳的心情	自己を見つめ、自己の適性や能力の発見に努め、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする姿を賞賛的にとらえている。
道徳的判断力	自己を見つめ、自己の適性や能力の発見に努め、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとするものの大切さを理解している。
道徳的実践意欲・態度	自己を見つめ、自己の適性や能力の発見に努め、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとしている。 【生徒の記述例】 主人公が自分の無力さを反省しながらも、常に「新たな自分に出会うチャンス」を求めている姿が素晴らしいと思った。また、自分自身と向き合い、自分らしさとは何かを知り、自分探しを続けることが大切だと思った。今日の授業で学んだことを生かし、自分も夢中になれることを見つけ、充実した生活を送れるよう頑張りたい。

6 本時の指導構想

(1) 本時のねらい

自己を見つめ、自己の適性や能力の発見に努め、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育む。

(2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

【考えがいのある課題設定】

考えがいのある課題を「自分らしい生き方をするためには何が大切なのか。」と設定し、導入で提示する（「自分らしさとは何か」聞く。）。課題解決の基となるのは、資料とこれまでの生活経験である。主人公の気持ちに寄り添わせながら、価値の把握につなげたい。

【「論理の思考型」の使用】

全ての思考型を用いて考えさせたい。ただし、第1発問の主人公の気持ちに対しての判断場面では、類推思考、類別思考を用いて考えさせたい（1 自信をなくし、バスケットを辞めようか迷っている「私」をどう思うか。）。根拠をもとに理由づけしながら発言させたい。

【かかわり合い】

個人の意見を全体で発表し、その意見に対する考えを発表させることでかかわり合いを組んでいきたい。また、他の意見を自分の意見と比べて、関連性があるか、別の考えであるかを判断し、生徒同士のかかわり合いを意識させたい。

【自己評価活動】

終末において、自己評価活動を行う（※価値について考えたことを記入、発表する。）。本時の流れを振り返り、「主人公が挫折から立ち直り、新たな自分を発見して前向きに生きていること」に気づかせ、記述させたい。また、「私も主人公のように自分自身と向き合い、誰かに与えられたことだけをやるのではなく、自ら夢中になれることを見つけ、努力していきたい」など、今後の道徳的実践意欲や態度につながる記述をさせたい。

7 本時の展開

段階	過程	学習活動	期待する生徒の反応	指導上の留意点
導入 7分	状況の把握	※「自分らしさとは何か」聞く。 ※主人公について確認する。 ※資料の範読	<ul style="list-style-type: none"> よくわからない。 考えたこともなかった。 自分の良いところ。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料に対する共通理解をさせる。
展 開	課題意識を高める	※あらすじの確認 1 自信をなくし、バスケットを辞めようか迷っている「私」をどう思うか。 【類推思考, 類別思考】	〈仕方がない〉 <ul style="list-style-type: none"> 選手になれなくて自信を失うのは仕方がない。 バスケットを続ける意味が分からなくなるのもわかる。 失うものの方が大きければ、退部は仕方ないと思う。 〈悪い・よくない〉 <ul style="list-style-type: none"> 部の仲間のことを考えずに辞めるなんて自分勝手だ。 部活動が辛いのは当たり前、辞めるのは気持ちが弱いから。 自分の適性もわからずに、見切りをつけたのはよくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 退部に反対の生徒も、賛成の生徒も意見の交流によって、主人公の迷う気持ちに共感させる。
	価値の追求	2 「自分で自分をどんどこだめにしていくようでこわかった」のはなぜだろう。	<ul style="list-style-type: none"> 目標を失ったから。 これまでバスケットで認められていたのに、何となく自分が小さく思えた。 自分の力だと思っていたのは周囲の力を借りていたからだ気付いた。 部活選びが失敗したことで、自分に何が適しているのかわからなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の寂しさや悩みの原因について主人公自身のどんどこに起因するのか、気づかせる。
3 5 分	変容契機をとらえる	3 悩む中でジャズダンスに出会えたのは、「私」がどんな気持ちを持ち続けていたからか。	<ul style="list-style-type: none"> 迷っても諦めずに自分を探し続けたから。 本来の自分を取り戻したい。 後悔のない生き方をしたい。 新たな自分を見つきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の生き方から、一人一人が自分自身について見つめる機会とする。
	価値の把握	4 「私の中で何かが変わり始めた。少しずつ私の姿が見えてきた」とはどういうことだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いをダンスで表現できたことで自信がいった。 表現する喜びに出会えて変われそうな気がした。 好きなことをやっ払いこうという方向性が見えた。 今までは周りの目を気にし過ぎていたことに気づき、本当の自分が見えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分らしい生き方をするためには何が大切なのかを考えさせることで、本時の価値に迫る。
終末 8分	自己評価活動	※価値について考えたことを記入、発表【自己決定】	主人公が自分の無力さを反省しながらも、常に「新たな自分に出会うチャンス」を求めている姿が素晴らしいと思った。また、自分自身と向き合い、自分らしさとは何かを知り、自分探しを続けることが大切だと思った。今日の授業で学んだことを生かし、自分も夢中になれることを見つけ、充実した生活を送れるよう頑張りたい。	【道徳的実践意欲・態度】 自己を見つめ、自己の適性や能力の発見に努め、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとしている。 <学習シートの記述>

主なる場面	主人公の心の動き	指導の意図	期待する生徒の反応	発問
<p>自信が少しずつ失せ、自分を取り戻すためにバスケット部を辞めた私。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強との両立が出来なくて辛い。 ・部活を続けることで時間や自信がどんどん失われていく…。 ・もう疲れた、部活を辞めよう。 ・一人でゆっくり考える時間がほしい。 	<p>退部に反対の生徒も、賛成の生徒も意見の交流によって自分自身の考え方・生き方を見つめられるように話し合いを深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活が辛いのは当たり前のことだから、辞めるのは気持ちが弱いからだ。 ・部の仲間のことを考えずに辞めるなんて自分勝手だ。 ・選手になれなくて自信を失うのは仕方がない。 ・バスケットを続ける意味が分からなくなるのはよくわかる。 	<p>自信をなくし、バスケットを辞めようか迷っている「私」をどう思うか。</p>
<p>バスケットを辞め、自分に合う部活を探したが、部活選びに失敗した私。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ぼっちになってしまっただけ寂しい。 ・バスケットを取ってしまったら何も残らない自分はだめな人間だ。 ・好きなことがあって頑張っている人がうらやましい。 ・自分はなんて無力な人間だったんだろう。 	<p>資料の表現の指摘にならないようにする。主人公の寂しさの原因、悩みの原因は主人公自身のどんなところから起るのかを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまではバスケットで認められていたのに、それがなくなって自分の存在が小さく見えたから。 ・自分の力だと思っていたのは、周囲の力を借りて得たものだ気付いたから。 ・目標を失ってしまった。 ・部活選びが失敗したことで、自分に何が適しているのかわからなくなった。 	<p>「自分で自分をどんどんだめにしていくようでこわかった」のはなぜだろう。</p>
<p>「新しいことを始めるのは新たな自分に出会うためのチャンスではないか」と、少しずつ思い始めた私。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が熱中して取り組めることは、もっと新しい世界にあるのではないか。 ・部活にこだわる自分を捨てて新しい自分になることで、新しい世界が開けるのではないか。 ・もっと視野を広げて、自分自身も変えよう。 	<p>「自分探しの旅」の末に、主人公はジャズダンスと出会うのであるが、このことについても賛否両論があろう。話し合いを通して、生徒が自分自身について見つめる機会とさせたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・迷っても諦めずに自分を探し続けたから。 ・本来の自分を取り戻したい。 ・後悔のない生き方をしたい。 ・新たな自分を見つめたい。 	<p>悩む中でジャズダンスに出会えたのは、「私」がどんな気持ちを持ち続けていたからか。</p>
<p>ジャズダンスと出会うことで、自分の中で、何かが変わり始め、少しずつ自分の姿が見えてきた私。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私はやっぱり体を動かすことが好きなんだ。好きなことをやってみよう。 ・表現する喜びに出会えて、自分は変われそうな気がする。 ・ありのままの自分を表現し、それを認めてもらいたい。 ・周りの目を気にすることなく、自分が一番正しいと思う道を、思いっきり生きたい。 	<p>自分の個性を見出し、伸ばし、自分らしい生き方をするにはどうすることが大切なのかを、この発問から考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私はやっぱり体を動かすことが好きだ、好きなことをやってみよう、方向性が決まってきたから。 ・表現する喜びに出会えて、自分は変われそうな気がしたから。 ・自分の思いをダンスで表現できて自信がついた。自信を持っている自分が新しい自分に見えてきた。 ・今までは周りの目を気にし過ぎていたことに気づき、本当の自分が見えてきた。 	<p>「私の中で何かが変わり始めた。少しずつ私の姿が見えてきた」とはどういうことだろうか。</p>

私は十四歳

【悩む中でジャズダンスに出会えたのは、「私」がどんな気持ちを持ち続けていたからか。】

【 今日の授業で学んだこと 】

- ・ 主人公の言動や行動について
- ・ 自分らしい生き方をするためには、どんなことが必要だろうか。
- ・ 今までの自分はどうか。これからどうしていけばよいらろうか。

主人公 私

迷ったけれど、バスケットをやめることになった。

仕方がない

- ・ 選手になれなくて自信を失うのは仕方がない。
- ・ そんなに思いつめるくらい悩むなら無理しなくてもいい。
- ・ バスケットを続ける意味が分からなくなるのもわかる。
- ・ 成績が下がるのはよくない。
- ・ 失うものの方が大きければ、退部は仕方がない。

↑ 小学校から続けている ↓

↑ 想像以上にきつい ↓

↑ 勉強と両立ができない ↓

悪い・よくない

- ・ 部の仲間のことを考えずに辞めるなんて自分勝手だ。
- ・ 部活動が辛いのは当たり前、辞めるのは気持ちは弱いから。
- ・ 周りも同じ条件で頑張っているのだから、逃げるのはおかしい。
- ・ 自分の適性もわからずに、見切りをつけたのはよくない。

鏡を見つめる
挿絵

自分で自分をどんどんだめにしていくようになってわかった。

- ・ 部活選びが失敗したことで、自分に何が適しているのかわからなくなった。
- ・ これまでバスケットで認められていたのに、なくなくと自分が小さく思えた。
- ・ 自分の力だと思っていたのは周囲の力を借りていたからだと思いついた。
- ・ 目標を失って寂しさを感じるのはよくわかる。

今、新しい自分を始めるのは、新たな自分に出会うためのチャンスなのではないか。

ジャズダンスとの出会い

- ・ 迷っても諦めずに自分探しを続けたから。
- ・ 本来の自分を取り戻したい。
- ・ 後悔のない生き方をしたい。
- ・ 新たな自分を見つけた。

私の中で、なにかが変わり始めた。少しずつ私の姿が見えてきた。

- ・ 好きなことをやっていこうという方向性が見えた。
- ・ 表現する喜びに出会って変われそうな気がした。
- ・ 自分の思いをダンスで表現できたことで自信がついた。
- ・ 今までは周りの目を気にし過ぎていたことに気づき、本当の自分が見えてきた。